



ゆう&あい

10月号
平成30年
9月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

「くらし支え合いはりま塾」受講者募集

「高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」そんな思いを支え合うサポーター(ボランティア)になりませんか。超高齢社会の現状や制度、認知症に対する理解と対応方法等について学んだ後、希望のコースに分かれ、外出・移動の支援方法や生活支援の基礎知識について理解を深めます。

将来のためにも学んでおく良いチャンスです！

☆ご希望のコースを選んでください(両方の受講も可能です)

- A. 介護支援ボランティア養成コース
- B. 生活支援サポーター養成コース



- 日程
 - 【両コース共通(2日間)】 10月2日(火) 9:30~12:00、10月9日(火) 9:30~11:45
 - 【A.介護支援ボランティア養成コース(1日間)】 10月16日(火) 9:30~12:00
 - 【B.生活支援サポーター養成コース(2日間)】 10月23日(火) 9:30~15:50、10月30日(火) 9:30~15:30
- ※「B.生活支援サポーター養成コース」では、すべての講座修了者に修了証を交付します。

- 会場 福祉しあわせセンター 3階 会議室
- 定員 各コース 先着20名
- 参加費 無料
- 申込み・問合せ先 播磨町社会福祉協議会 電話:079-435-1712



お知らせ

「みんなのカフェ」1周年感謝祭

～ オープン1周年の想いを込めて 感謝祭を開催いたします ～

- 【日時】 10月24日(水) 10:00~13:00
- 【場所】 播磨町二子311 ※普光寺さん門前の古民家です。
- 【参加費】 100円(飲み物・お菓子代)
- 主催 ボランティアK・W・H
- 問合せ先 播磨町社会福祉協議会 079-435-1712



★ 記念イベント内容 ★

- ギター・ハーモニカの生演奏
 - カラオケ大会(みんなで歌おう!)
 - ビンゴゲーム大会(景品当たるよ!)
- 日頃の感謝を込めて、手作りの催しです。皆さまお誘い合わせてご来場ください。お待ちしております!



地域包括支援センター 職員募集

播磨町社会福祉協議会では、地域包括支援センターの長く働いていただける準職員を募集しています。

- 1. 採用人数 (A) 介護支援専門員 1名 (B) 認知症地域支援推進員 1名
- 2. 職務内容
 - ・要支援者に対するケアプランの作成(マネジメント業務)
 - ・包括的支援業務(高齢者等に対する相談・援助等の業務)
- 3. 応募資格
 - ・介護支援専門員、社会福祉士または保健師のいずれかの資格を有する方
 - ・普通自動車運転免許証を有している方
 - ・ワード・エクセル等のパソコン操作ができる方 未経験の方も可
- 4. 勤務形態 月曜日～金曜日 8時45分～17時20分 ただし、4週に1度 土曜日出勤あり
休日：日祝日・年末年始
- 5. 給与 基本給 月額180,000円 資格手当 15,000円～20,000円
※昇給賞与有、各種社会保険完備、通勤手当、退職金制度、その他雇用条件は当会の規程に基づく
- 6. 応募方法 ①履歴書(写真付) ②資格書の写し を社会福祉協議会まで事前にご提出ください。追って面接試験日をお知らせします。



問合せ・申込先 播磨町社会福祉協議会
〒675-0147 加古郡播磨町南大中1丁目8-41
TEL 079-435-1712

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
E-Mail info@harima-wel.or.jp

おもちゃルーム “きらきら”

い〜つばいのおもちゃで遊ぼう
10月の開設日

- 日時 10月4日(木)・20日(土) 10時～12時
- 場所 播磨町福祉会館

福祉相談

- 日時 10月3日(水)・17日(水) 13時30分～16時
- 場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員がご相談をお受けします。

心配ごと相談

秘密厳守

- 日時 毎週火曜日 13時～16時
- 場所 福祉しあわせセンター

法律相談

- 日時 10月2日(火) 13時30分～15時30分
- 高齢者や障害者の方のお金や財産の管理(成年後見制度)についての相談もお受けします

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

知的障害者(児)相談

- 日時 第2火曜日 13時～14時30分
- 場所 福祉会館

困りごと相談

秘密厳守

- 日時 10月11日(木)・25日(木) 13時～15時
- 場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員がご相談をお受けします。

認知症家族の会

- 日時 10月13日(土) 13時30分～15時30分
- 場所 幸ばあちゃんの家 南野添3-16-7
- 内容 懇談会

問合せ・申込み 播磨町地域包括支援センター
Tel 079-435-1841



第10回 福社会館文化祭



日時：平成30年10月23日(火) 午前10時～午後4時

【発表の部】

時間	出演団体・サークル等	内容	会場
10:00～15:00	ローズマリー農園	ハーブ石鹸等手作り体験	健康相談室
10:00～15:00	結いはりま	つどいカフェ	集会運動指導室
10:00～10:20	大正琴アンダンテ	大正琴	3階会議室
10:20～11:00	フォークダンスサークル	フォークダンス	
11:00～12:00	詩吟同好会	詩吟	
12:00～12:40	明楊会播磨	太極拳	
12:40～13:10	きりは舞踊の会	新舞踊	
13:10～13:50	太極柔力球サークル	太極柔力球	
13:50～14:50	なでしこ歌の会	カラオケ	
14:50～15:50	秀奥会民謡サークル	日本民謡	

【展示の部】

時間	出演団体・サークル等	内容	会場
10:00～16:00	書道サークル	書道	生活指導室 診察室 栄養指導室
	手描き友禅同好会	手描き友禅	
	親子ふれあいサークル	こども絵画・造形	
	ビーナス(絵画同好会)	絵画	
	折紙同好会	折紙	
	絵手紙サロン	絵手紙	
	生け花サークル	生け花	

【バザーの部】

時間	出演団体・サークル等	内容	会場
10:00～16:00	ボランティアあすなろ	手作り品等の即売	1階ロビー
	ゆうあい園	手作り品の即売	正面玄関
	播磨町花と緑の協会	花の苗の販売	

主催：福社会館文化祭実行委員会
播磨町社会福祉協議会
後援：播磨町

問合せ

播磨町福社会館
TEL 079-437-3221

お願い! 福社会館は駐車場が少ないために、自転車または徒歩でお越しください。

寄付者ご芳名

あたたかい善意をありがとうございました。(平成30年8月7日～平成30年9月6日)
(所得税法第78条第2項第3号該当 法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●福祉のために

(個人の部)		(敬称略)	
地区名	氏名	金額	
宮西	匿名	5,000円	

●今月の払出状況

子どものいない老人誕生日祝	9,000円
要援護世帯お米代	3,650円

平成30年7月豪雨災害義援金

二子いきいきサロン“かっぼ”	10,300円	播磨町福社会館 利用者様	4,210円
播磨町シニアクラブ連合会	207,731円	播磨町福祉しあわせセンター 利用者様	84,488円
播磨町社会福祉法人連絡会	35,679円		

※中央共同募金会を通じて、被災者の方々にお届けさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



じぶんの町を良くするしくみ。
10月1日～

平成30年度目標額
3,600,000円

播磨町に必要な福祉活動やボランティア活動などを応援します!
県内の福祉施設や団体、NPOなどの事業を応援します!
いつ、どこで起こるか分からない大規模な災害に備えています!

☆共同募金とは?

共同募金は、地域福祉の推進を目的として社会福祉法に定められた計画募金です。計画募金とは、あらかじめ地域福祉関連の活動をしたい団体から申請を受け付け、配分先を予定したうえで行う募金のことで、共同募金の責任と役割の重要性を端的に表す共同募金の大きな特徴となっています。

共同募金運動は、戦後間もない昭和22(1947)年にスタートし、社会福祉施設・団体への機器整備や事業費への配分、さらには、ボランティア活動など地域の草の根活動や災害時のボランティア活動支援など民間の社会福祉事業を力強く支えてきています。



☆配分された募金を何に使っているの?

例えば、平成29年度の播磨町で集まった募金の実績に基づき、平成30年度、地域福祉配分金として播磨町社協に3,031,000円が配分され、播磨町社協では、下記の事業計画をもとに、播磨町の福祉力向上のために活用させていただいています。

高齢者の福祉のために
1,288,000円

- ◆給食サービス等の在宅福祉活動
- ◆ふれあいいきいきサロン等の社会参加活動
- ◆ひとり暮らし老人の会等の団体援助活動

子どもの健全育成のために
130,000円

- ◆子ども会等の団体援助活動 等
- ◆小・高校での福祉学習支援

障がい者の福祉のために
140,000円

- ◆点訳等のボランティア活動
- ◆障害者団体・当事者組織の支援

広報・啓発のために
1,473,000円

- ◆福祉フェアを開催しての啓発活動
- ◆広報誌の発行等の広報・調査活動
- ◆各種団体の援助活動



先日、下重暁子さんのベストセラー『家族という病』を拝読しました。三十路をとうに過ぎて独身、実家暮らしの身につまされる点が多々ありましたが、そんなことはさておき、一般的伝統的な家族観というべきものを考えさせられる内容でした。冒頭に「あなたは家族のことを本当に知っている?」と著者が知人に尋ねるくだりがあります。知人は「何を言っているの?」「家族のことは知っているの?」「前じゃない」というように返します。多くの人が、家族のことはよく知っていると思っていますが、家族は身近な存在だからこそ、ひとりひとりが本当は何を思っているのか、どういうことを考えているのか、実際は分かっていたらということがある、著者は投げかけます。お互いに思い合い、気遣い合うからこそ心配をかけまいとして本音を言わないというところもある、個々は別の人間ですが、家族とはいつまでも、個々には別のことから、口に出して見ないと伝わらないこともたくさんあります。住み慣れた地域で最後までその人らしく暮らすことを支えています。最も基盤となるのは、「本人の選択と本人・家族の心構え」です。歳を取ってこの先、どこでどのような暮らしを望むか、医療や介護はどのように受けるか、大切にしたいことは何か、ぜひ一度ご家族と話してみたいことは何か、ぜひ一度ご自分の思いを書き留めておくことで後のケアに活かすことができます。ご相談は、播磨町地域包括支援センターまで

ほのぼの便り

播磨町地域包括支援センター